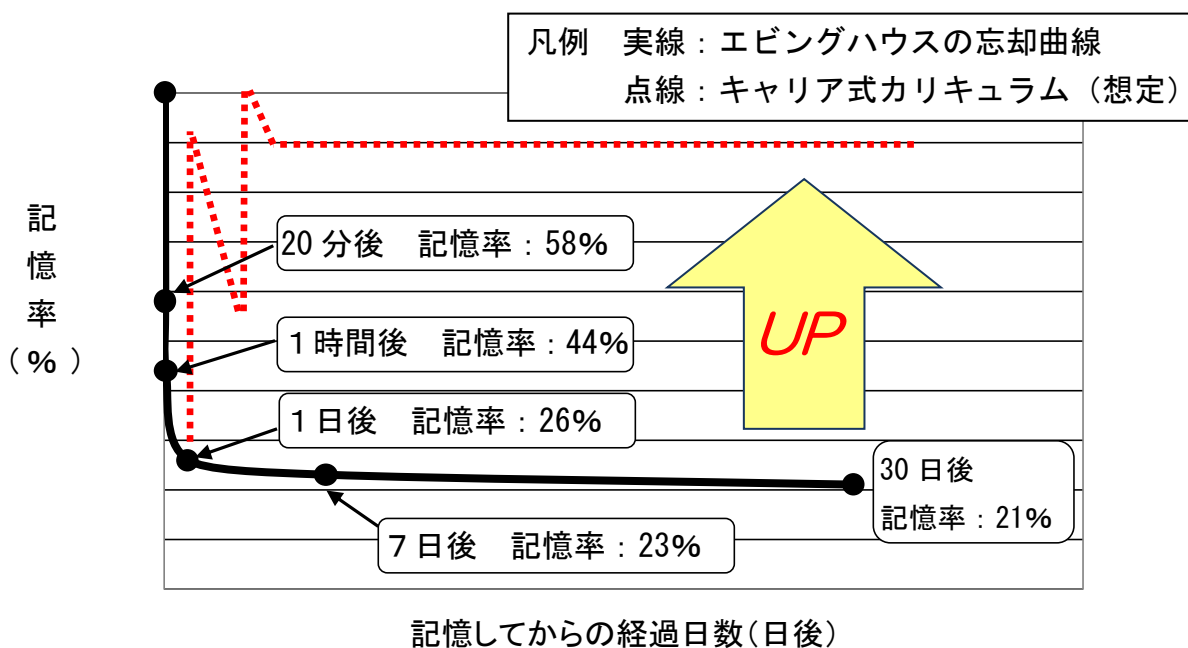


記憶の忘却とその対策

記憶の忘却について、有名なエビングハウスの忘却曲線があります。この実験は、心理学者エビングハウスが子音・母音・子音から成り立つ無意味な音節を自ら記憶し、再生率を調べ、曲線化したものです。

人間は覚えた情報を忘れていく生き物であることを踏まえ、当塾では下記の記憶方法を用いて生徒の記憶率を向上させるべく、対策を講じています。

エビングハウスの忘却曲線



<講師が授業で意識している工夫>

- ① 生徒に説明させる
- ② 生徒に音読させる
- ③ 計算を速くさせる
- ④ 楽しく覚えさせる
- ⑤ 法則を教える
- ⑥ 丸暗記でなく意味を理解させる
- ⑦ イメージで記憶させる
- ⑧ 生徒の五感を使って教える
- ⑨ 興味を持たせる
- ⑩ 記憶する回数を増やす